



既存業務の枠を超えた取り組みをサポートする IoTアプリケーション

Thingworx活用メリット

1. IIoT環境構築ツール(ローコード開発プラットフォーム)
 - IIoTの“仕組み作り”ではなく、IIoTで“やりたいこと”を実現する開発支援プラットフォームソフトウェア
 - ThingWorxは、製造業に特化したソフトウェア
2. FA (レベル0~2) - OA (レベル3~4)領域のデータを、柔軟に素早く収集一元管理できるボックス
 - ThingWorxは、オープンプラットフォームとして提供
 - この仕組みと同様なレベルでスクラッチ開発・サービス運用の場合と比べて大幅なコスト削減が可能
3. BIツール、SCADA、HMIとは異なる
 - ThingWorxはBIツールと異なり、現場機器側への指令も可能
HMI: 装置単体、SCADA: ライン全体、Thingworx: 拠点横断的に管理表示
 - 単なる表示ツールではなく、アナリティクス、ARを用いた次世代保全領域への応用発展を見越したプラットフォーム

Thingworxアプリケーション例

- ・ 総合設備効率OEE監視: 生産性阻害要因の点から監視
- ・ エネルギー管理・監視: エネルギー最適化、ピーク需要時の電力使用を抑える。



エネルギー管理システム



総合設備効率(OEE)

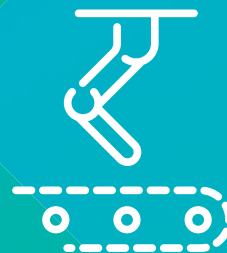


expanding human possibility®



Thingworxはビジネスを変革する

Thingworxは企業全体に存在するさまざまなデバイス、アプリケーション、データソースを接続し、産業運用データの収集と集約、データへの安全なアクセスを可能にします。
デジタルトランスフォーメーションには、すべての産業用資産を対象に安全で信頼できるシームレスな接続性が必要であり、Thingworxは直感的なユーザインターフェイスを使用して、多様なオートメーションデバイスとソフトウェアアプリケーションを接続、管理、モニタし、制御できるようにします。

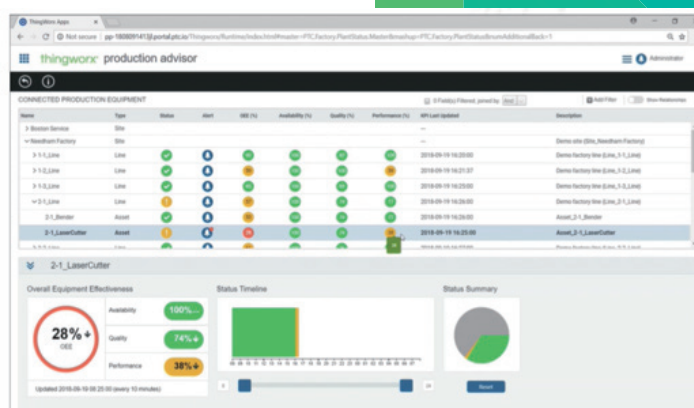


早期に結果を導く画期的なソリューションの加速化

デジタルエンジニアリングや生産、企業規模でのサービスなどに適用可能なソリューションを
テンプレートベースで開発可能

迅速な性能改善や意思決定を実施するための系図形式洞察や情報をその
役割ごとのダッシュボードとして提供

IIoTプラットフォームによる業務のユニークな
要求に対して適用可能な機能を保持しており、かつ後日拡張や機能の追加にも
対応



資産健全性

接続性

変更管理

製品開発

保守

生産 KPI

Thingworx活用イメージ

既存業務の枠を超えた取り組みをサポートするシステムの実現



thingworx®

- ◆ 柔軟性の高い接続性
- ◆ アイデアを素早く具現化する開發生産性
- ◆ 柔軟な可視化表現
- ◆ 機械学習による予知、予見の実現
- ◆ 継続的な最新テクノロジーの提供
- ◆ ペーパーレス化

問い合わせ先:

ロックウェルオートメーションジャパン株式会社

問い合わせフォーム: <https://www.rockwellautomation.com/ja-jp/company/about-us/contact-us.html>